

競輪とオートレースの補助事業
競輪は様々な分野の事業を応援しています

◆「蓄電池式バッテリー搭載婦人検診車」を整備しました

令和2年3月27日に蓄電池式バッテリーを搭載した子宮がん検診車を、公益財団法人JKAからの2019年度競輪公益資金による体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に関する補助金交付により、更新しました。車体には補助車両であることを示すシンボルマークが表示されていますが、女性のための検診車両であることから、女子競輪を意味する「ガールズケイリン」マークを全国に先駆けて採用しています。

最新車両の特徴としては蓄電池式バッテリーを搭載した、検診会場にて騒音を出さない環境に優しい検診車です。従来の検診では検診車に搭載していた発動発電機(ディーゼルエンジン)を使用していましたが、新たに搭載する蓄電池式バッテリーは騒音や排気ガスが出ないため、周囲の環境に配慮した検診車です。

さらに、受診者のプライバシー保護や従事スタッフの同線確保のため、受診台を2台から1台とし、受診環境を整えることで、子宮頸がん検診受診率の向上を目指します。整備した検診車は令和2年4月下旬から稼働を予定しており、これからも栃木県民のみなさまに質の高い子宮頸がん検診を提供してまいります。

検診車全体図



検診車前方



検診車後方



受診台

